

単元名 (旧)絵の具でゆめもよう(絵)

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 色を重ねたり、絵の具を混ぜたりするなど、いろいろ試しながら、表し方や、模様の組み合わせ方を工夫することができる。
- (2) いろいろな表し方でできる形や色、組み合わせや、できた紙を使って表すことなどを考えることができる。
- 自分や友達と工夫したところを見せ合い、よさや面白さを感じ取ることができる
- (3) 絵の具でいろいろな表し方を試し、表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

04080108_001

【準備等】画用紙（いろいろな大きさに切っておいたもの、模様の紙を貼り付けるためのA3程度のもの）
ボール紙、段ボール、マーブリングセット、ローラー、トレイ、ぼかし網、歯ブラシ、ストロー
ビー玉、水彩用具一式、はさみ、のり

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 身近な材料や用具の使い方を工夫して、いろいろな方法で紙に模様を付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品をみて、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> いろいろな模様の紙がある 模様をつける道具がたくさんある ★絵の具を使って、いろいろな模様の紙を作ろう さまざまな技法を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 段ボールなどでスタンプをする 型紙を置いてスパッタリングをする 身近な材料で絵の具をつける マーブリング <p>○いろいろな方法で紙に模様を付ける。</p> <p>3 できた紙を友達と見合い、工夫やよさについて話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と工夫を見合い、よさや面白さを見付ける。 ○集めた紙を見ながら、どんな作品ができるかを考える。 <p>4 集めた紙で、コラージュ（貼り絵）をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画に従い、表したいものをコラージュで表す。 ○友達の作品のよさをみんなで話し合う。（言語活動） 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書3・4下 P.8 どんな模様の紙があるか、教科書を参考にしながら、気付いたことを話し合わせる。 事前にスタンプや描画材に使いたいものを集めておくようにする。 紙に模様をつける方法を実際に示す。 画用紙コーナーを設けて種類別に積み、児童が好きなものを選ぶようにしておく。 身近な材料コーナーを設けて、一人一人の児童が公平に選び試せるよう、たつぷりと種類別にトレイなどに分けて魅力的に配置する。 ローラー、ぼかし網、歯ブラシなどは班ごとにトレイに入れて置き、交代で使う。 マーブリングコーナーは流しにバットを置き順番に試せるようにする。 身近な材料や用具の使い方を工夫して、いろいろな方法を試してみるように助言する。 紙の材質、使う色、使う材料によって、さまざまな模様ができることに気付かせる。 【評】模様づくりの材料や技法を試す活動を通して、「発想や構想の能力」を評価する。 友達の表現のよさや面白さを見付けて発表させる。 表現の思いを温めるような雰囲気をつくる。 紙を実際に並べながら考えるようにさせる。 実際にコラージュを行う中で、計画と変わってくることも認めていく。 よさを認め合うような鑑賞を行う。 【評】作品のよさを認め合ったり、作品への思いを感じ取ったりする活動を通して、「鑑賞の能力」を評価する。

【 備 考 】